

OSAKA UNIVERSITY  
School of Foreign Studies

2018（平成30）年度  
3年次編入学試験  
学生募集要項



School of Foreign Studies

大阪大学外国語学部

## 言葉を究めて世界へはばたく

### “Let Language Be Your Wings To The World”

私たちがこの地球上で共存していくためには、さまざまな言語文化圏に暮らす者どうしがお互いの異なる点を理解し、その存在を尊重しあうことが大切です。

そのためには、私たち外国語学部は、世界のさまざまな言語を究めること、そしてそれを通して、各地域の文化や社会を深く理解することが必要であると考えています。このような理念にもとづき、外国語学部は、世界各地の言語とそれを基底とする文化全般について教授し、それを通して、世界各地の言語・文化・社会に関する深い理解を有し、かつ国際的な活動に必要な幅広い知識と高い教養を備えた人材を養成することを目標としています。

外国語学部の原点は、1921年大阪市上本町に設立された大阪外国語学校にあります。同校は、1949年国立学校設置法施行にともない、外国語学部の前身、大阪外国語大学となりました。1979年には、現在の箕面の地に移転し、大学発足当初12であった開設専攻言語も、その後の発展の中で、25言語にまで拡充しました。そして、2007年には大阪大学との統合にともない、大阪外国語大学は、大阪大学外国語学部として再出発しました。

外国語学部へ入学した学生は、4年間の体系的な一貫教育のもとで、各専攻語とそれを基底とする文化や社会を学びます。在学生の多くは、さまざまな機会を利用して、海外での生活を経験しています。そして現在、数多くの卒業生が、学生時代に修得した高度な言語運用能力と世界諸地域についての深い知識を切り札として、世界を見すえて、産業界や学界、教育界の第一線で活躍しています。

# 大阪大学外国語学部の概要

## 1 教育理念

外国語学部は、世界各地の言語及びそれを基底とする文化全般について理論と実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要となる幅広い知識と高い教養を育み、言語を通じて世界各地の文化と社会に関する深い理解を有する有為な人材を養成することを目的としています。

## 2 教育プログラム

専攻語教育について、4年間の体系的な一貫教育を実施しています。

1年次から少人数クラスの専攻語科目を必修として配置し、1年次・2年次においては、それぞれ5科目10単位の修得を進級の要件としています。

また、3年次・4年次においては、より高度な言語教育科目を配置するとともに、世界各地の言語文化に関する専門知識を深めるために、言語学、文学、歴史学及び社会学などについての多様な専攻科目(講義・演習)を開設しています。

なお、専攻語科目の1年実習、2年実習及び演習の教育については、専攻語ごとに各科目で到達度目標を定めており、客観的な到達度評価の制度を確立して、外国語学部における語学教育をより充実したものとし、また、社会的にも客観的で透明性のある教育内容であることを目指して実施しています。

さらに、他専攻における関連分野の学修をも視野に入れ、専門分野・領域の幅を広げることを目的として、関連科目(学部共通科目[方法論科目、地域系科目、特設科目]、研究外国語及び兼修語学)を配置しています。

## 3 求める学生像

外国語学部では、特に自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、次のような学生を受け入れます。

- ・さまざまな文化背景を持つ人々とコミュニケーションをとることができる能力を身につけたい人
- ・世界の言語・文化・社会に関する専門的な知識を身につけたい人
- ・外国語を駆使して、外国の文化や社会の研究をしたい人
- ・外国の言語や文化・社会に対する理解を通じて、自国の言語や文化・社会を探究したい人
- ・異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人
- ・世界的規模の諸問題を解決するために、国際的な協力を推進したい人

## 4 標準修業年限及び卒業要件について

### ① 標準修業年限

3年次編入学の標準修業年限は2年であり、通年4年を超えて在学することはできません。ただし、修業年限(在学期間)には、休学期間(最長2年)は含みません。

### ② 卒業要件

外国語学部に2年以上(4年以内)在学し、所定の履修方法に従い授業科目区分ごとに定められた卒業要件単位を、合計100単位(既修得単位として本学部が認定したものを含む。)以上修得することが必要です。

## 5 標準修業年限及び卒業要件について

外国語学部を卒業した者には、「学士(言語・文化)」の学位が授与されます。

## 6 中学校及び高等学校教諭1種普通免許状の取得について

外国語学部において所定の単位を修得することにより、中学校及び高等学校教諭の1種普通免許状を取得することができます。

## 専攻アドミッション・ポリシー〔学生受入方針〕

専攻	アドミッション・ポリシー(学生受入方針)
中国語	中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとり組み、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。
朝鮮語	朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人 朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人 日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人
モンゴル語	モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得して、異文化としてのモンゴルの多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人
インドネシア語	多彩な数百の民族から構成される東南アジア最大の国家であり、日本とも深い関係を持つインドネシアについて、インドネシア語の習得を基盤としながら、言語・文化・社会・信仰・歴史などの様々な面から積極的に学び、理解を深め、その成果を生かして、社会に貢献していきたい人
フィリピン語	フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人 研究テーマを深めるために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない人
タイ語	タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える人
ベトナム語	ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人 そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたい人
ビルマ語	異言語を学ぶことは異文化を体験することです。ビルマ語の勉強を通して、ミャンマーの土地に育まれた人々の生活やものの考え方に触れ、異文化について深く考えてみたい人を歓迎します。
ヒンディー語	ヒンディー語専攻は、ヒンディー語を習得し、新しい可能性を秘めたインドの社会と文化の現実を、熱く学ぶ意欲を持つ皆さんを歓迎します。
ウルドゥー語	文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語をしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の言語、文学、文化、社会を深く研究したい人を歓迎します。
アラビア語	アラビア語習得への強い意欲を持つと同時に、日本語も含めた世界の言葉に限りない関心を寄せ、言葉が織り成すあらゆる現象を理解するためにあくなき探求心を燃やし、異文化への遙かな道ゆりを自分の足でたゆまず歩んでいける人を希望します。
ペルシア語	ペルシア語の着実な運用能力を身につけ、言語を基盤にイランおよび西アジアの文化と社会を深く探究しようとする、知的好奇心にあふれた人を求めています。

専攻	アドミッション・ポリシー(学生受入方針)
トルコ語	本トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語・文化や社会に強い関心を抱き、トルコ共和国の公用語であるトルコ語の習得への強い意欲を持ち、高い目標を実現すべく努力を怠らない人を望みます。また将来的にトルコ語を用いてトルコ系諸国の言語や文化、さらには社会について深く学びたい人、さらには自らの考えや思いをトルコ語で発信したいと思う人を求めます。
スワヒリ語	スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたい人を歓迎します。
ロシア語	ロシア語圏の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持って、入学してきてほしい。何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考えて、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めます。
ハンガリー語	ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。
デンマーク語	デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人
スウェーデン語	スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人
ドイツ語	ドイツ語を本格的に学びたい人、ドイツ語圏の歴史や文化を学ぶことをとおして現代ヨーロッパ社会への理解を深めたいと思う人、ドイツ語圏の国々で生活したり働きたいと思う人を歓迎します。
英語	実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。
フランス語	フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化(文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など)に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている人を求めています。
イタリア語	多様性と伝統を大切にしているイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある人を歓迎します。
スペイン語	スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語をとおしてスペイン言語学はもとよりスペインの文学や歴史、その他スペイン語圏の文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと希望する人
ポルトガル語	ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人 ポルトガルやブラジルの言語や文学、文化や歴史に強い関心をもち、習得したポルトガル語を駆使してそれらを探求しようという意欲のある人
日本語	日本語専攻では、外国語を身につけ、外国の事情を知った上で日本語・日本文化を客観的に捉えることに興味のある人、日本語教育に深い関心のある人、外国語を基盤にグローバルな観点から日本を世界に発信する意欲のある人を求めています。

# 2018（平成30）年度 3年次編入学試験募集要項

## 1 募集人員：外国語学部外国語学科 10名※

専攻名	
中国語専攻	スワヒリ語専攻
朝鮮語専攻	ロシア語専攻
モンゴル語専攻	ハンガリー語専攻
インドネシア語専攻	デンマーク語専攻
フィリピン語専攻	スウェーデン語専攻
タイ語専攻	ドイツ語専攻
ベトナム語専攻	英語専攻*
ビルマ語専攻	フランス語専攻
ヒンディー語専攻	イタリア語専攻
ウルドゥー語専攻	スペイン語専攻
アラビア語専攻	ポルトガル語専攻
ペルシア語専攻	日本語専攻*
トルコ語専攻	

※選考の結果、募集人員に満たない場合でも、合格としないことがあります。

\*英語専攻又は日本語専攻を志願する者は、「5 出願に当たっての留意事項」を参照すること。

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、志願する専攻言語について、本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位を16単位以上\*修得している者又は平成30年3月までに修得見込みの者

- ① 日本の大学、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者
- ② 日本の高等学校を卒業した者等で、かつ、次のいずれかに該当する者
  - ア 外国の短期大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者
  - イ 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を日本において修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- ③ 日本の高等学校を卒業した者等で、かつ、次の基準を満たす日本の専修学校の専門課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
  - ア 修業年限が2年以上であること。
  - イ 昼間学科若しくは夜間等学科で、全課程の修了に必要な授業時間数が1,700単位時

間以上であること、又は、単位制による学科であるもの及び通信制の学科にあつては、全課程の修了に必要な総単位数が62単位以上であること。

- ④ 日本の大学に2年以上在学（休学期間は除く。）し、当該大学の卒業要件単位を62単位以上修得した者又は平成30年3月までに修得見込みの者
- ⑤ 日本の高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規程する者に限る。）
- ⑥ 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者（外国において、最終の学年を含め2年以上継続して学校教育を受けた者に限る。）又は平成30年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者

※ 出願資格予備審査において認められた単位に限る。<sup>(注)</sup>  
 本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位（修得見込みを含む。）については、20単位修得していることが望ましい。  
 なお、20単位に満たない者については、入学後に不足単位を修得しなければならない。

(注) 出願資格予備審査において認められる本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位は、当該言語の会話、作文及び文法等について、実習（授業時間数30時間以上で1単位の科目）又は演習（授業時間数30時間以上で2単位の科目。ただし、授業時間数30時間で1単位の換算の上認定する。）形態で行われる授業科目の単位に限るものとし、講義形態で行われる授業科目の単位は含まない。

### 3 出願資格予備審査〔3年次編入学試験出願予定者は必ず申請すること。〕

志願する専攻の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の修得単位（修得見込みの単位を含む。）について、出願資格予備審査を行います。この審査により志願する専攻の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位を16単位以上修得済み（又は見込み）であると認められた者で、かつ、「2 出願資格」の①から⑦までのいずれかに該当する者に限り出願することができます。

#### ① 出願資格予備審査提出書類等\*

書 類 等	摘 要
出願資格審査申請書	・ 本学部所定のもの（様式①及び②）
単 位 修 得 （ 見 込 ） 証 明 書 又 は 成 績 証 明 書	・ 在籍（出身）大学長（学部長）等が作成し厳封したもの ・ 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・ 現在履修中の科目について、「単位修得見込証明書」が申請期間内に発行されない等の理由で提出できない場合は、別添「様式③：履修科目についての自己申請書【出願資格予備審査用】」を提出してください。（「単位修得見込証明書」が発行

	<p>された場合は、速やかに提出してください。)</p> <p>ただし、前年度までに修得済の単位については、必ず「単位修得証明書」又は「成績証明書(科目ごとの単位数が記載されたもの)」を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。</li> </ul>
授 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス及び授業時間割等で、各授業科目の授業内容、授業形態及び総授業時間数(又は1回の授業時間数及び授業回数)が分かるもの</li> </ul> <p>(例：学生便覧等の該当事項が記載された頁の写し等)</p>
出 願 資 格 予 備 審 査 結 果 通 知 封 筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学部所定のもの</li> <li>・封筒の表面に、住所・氏名・郵便番号を明記し、速達簡易書留用として672円分の切手を貼付してください。</li> </ul>

提出後の書類の差し替えは認めません。

また、提出書類等に不足や記入漏れ等があると判断された場合は、理由のいかんにかかわらず「出願資格なし」とみなしますので、不備等がないか十分確認した上で提出するようにしてください。(特に「2 出願資格」⑥または⑦により出願しようとする者は、事前に提出書類等について学生支援係(Tel.072-730-5069)に確認するようにしてください。)

\* 提出書類が日本語以外の言語の場合は、必ず該当書類に、日本語訳を添付してください。

② 出願資格予備審査申請期間：

平成29年8月28日(月)～9月1日(金)16時30分必着

申請期間内に郵送により到着したもののみを受け取ります。

ただし、期限後に到着した場合でも、8月30日(水)以前の日本国内発信局消印のある「速達書留」便に限り受け取ります。

③ 出願資格予備審査結果通知発送日：平成29年10月11日(水)

※速達簡易書留郵便により結果をお知らせします。なお、電話による問い合わせは一切受けません。

4 出願手続〔「3. 出願資格予備審査」により、出願に要する16単位が認められた者のみ出願できます。〕

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学部所定のもの〔様式A〕</li> <li>・写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを添付してください。(写真の大きさ縦4cm×横3cm)</li> </ul>

<p>単 位 修 得 ( 見 込 ) 証 明 書 又 は 成 績 証 明 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在籍 ( 出身 ) 大学長 ( 学部長 ) 等が作成し厳封したもの</li> <li>・ 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。</li> <li>・ 現在履修中の科目について、「単位修得見込証明書」が申請期間内に発行されない等の理由で提出できない場合は、別添「〔様式C〕：履修科目についての自己申請書【出願用】」を提出してください。 (「単位修得見込証明書」が発行された場合は、速やかに提出してください。)</li> <li>ただし、前年度までに修得済の単位については、必ず「単位修得証明書」又は「成績証明書 ( 科目ごとの単位数が記載されたもの ) 」を提出してください。</li> <li>・ 婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。</li> </ul>
<p>大学等の卒業・修了 (見込) 証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2 出願資格」の①により出願する者のみ提出してください。</li> <li>・ 在籍 ( 出身 ) 大学長 ( 学部長 ) 等が作成し厳封したもの</li> <li>・ 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。</li> <li>・ 婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。</li> </ul>
<p>高等学校の卒業 証明書等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2 出願資格」の②又は③により出願する者のみ提出してください。</li> <li>・ 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は学校教育法施行規則 ( 昭和22年文部省令第11号 ) 第150条に規定する者に該当する者であることを証明する書類</li> </ul>
<p>大学に編入学することができる 専門課程であることの 証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2 出願資格」の③により出願する者のみ提出してください。</li> <li>・ 在籍している ( していた ) 専門課程が、2の③のア及びイの基準を満たしていることを証明する書類</li> </ul>
<p>在学証明書又は 在学期間証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2 出願資格」の④により出願する者のみ提出してください。</li> <li>・ 入学年度が明記されたもの。休学期間がある場合は、休学期間が明記されたもの。</li> </ul>
<p>高等学校等の専攻科の課程 修了 (見込) 証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2 出願資格」の⑤により出願する者のみ提出してください。</li> </ul>
<p>学 歴 調 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2 出願資格」の⑥又は⑦により出願する者のみ提出してください。(様式任意)</li> <li>・ 小学校入学年次から記入してください。</li> </ul>
<p>志 望 理 由 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学部所定のもの〔様式C〕</li> <li>・ 志願する専攻言語で記入してください。なお、日本語専攻を志願する外国人留学生は、日本語で記入してください。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記(注)1参照</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>検 定 料</b> (30,000円) 下記(注)2参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集要項に綴じ込みの検定料振込依頼書により、平成29年10月13日から10月18日までの間に金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口でお振込みください。（ATM、インターネット等は利用できません。）</li> <li>・検定料納入証明書を必ず入学願書の所定の箇所にはがれないように貼付してください。</li> <li>・金融機関の収納印のない検定料納入証明書、及び検定料納入証明書貼付のない入学願書は無効とし、当該入学願書は受理しません。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>受験票</b> (郵便はがき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学部所定のもの</li> <li>・はがきの表面に住所・氏名・郵便番号を明記し、速達用料金として342円分の切手を貼付してください。なお、裏面は受験票になっているので、太枠内に志願専攻・氏名等を忘れず記入してください。</li> </ul>

- (注)1 志望理由書の作成にはワープロ等を使用しても差し支えありません。
- 2 提出書類が日本語以外の言語の場合は、必ず日本語訳を添付してください。
- 3 納付された検定料は、次の場合を除き返付しません。
- (1) 出願書類を提出しなかった場合又は受理されなかった場合
  - (2) 検定料を誤って、重複して振り込んだ場合
  - (3) 出願を受け付けた後において、出願資格のないことが判明した場合

**(2) 出願期間 平成29年10月16日（月）～10月20日（金）16時30分必着**

出願期間内に郵送により到着したもののみを受け取ります。

ただし、期限後に到着した場合でも、10月18日（水）以前の日本国内発信局消印のある「速達書留」便に限り、受け取ります。

**(3) 出願方法**

出願書類一式を、本学部所定の出願用封筒に入れ、「速達書留」便で郵送してください。

なお、直接持参されても受理しませんので、郵便事情を十分考慮の上、早めに発送してください。

**5 出願に当たっての留意事項**

- (1) 志願者は、専攻を指定すること。\*1
- (2) 日本語専攻を志願する者は、出願時に本学部が開設する25言語から、一つの専攻言語を指定すること。ただし、専攻言語「日本語」を指定することができる者は、外国人留学生\*2に限る。また、専攻言語「英語」を指定することができる者は、英語専攻を志願する者と同様に検定試験の基準を満たしている者\*1に限る。

※1 英語専攻を志願することができる者は、出願日までに下記のいずれかの基準を満たしている者に限る。  
ただし、(2)及び(3)については、2016年4月以降に受験したものに限る。

出願書類とともに、「合格通知書」の写し又は「スコアシート」の写しを提出してください。

- (1) 財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語検定準1級以上合格者
- (2) 財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会が実施するTOEIC (Test of English for International Communication)730点以上
- (3) Educational Testing Serviceが実施するTOEFL [Test of English as a Foreign Language] で、TOEFL(Paper)560点以上又はTOEFL(iBT)82点以上

※2 財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が2016年度又は2017年度に実施した「日本語能力試験(レベルN1)」に合格している者を対象とします。

出願書類とともに、「合格通知書」の写し及び「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。

## 6 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行う。
- (2) 学力検査の実施日程 実施期日：平成29年11月18日(土)

科目(配点)	時間	摘要
外国語(100点)	10:30 ~ 12:00	志願する専攻言語の試験を課します。 なお、英語のみリスニングテストを行います。
口述試験(50点)	13:00 ~	合格判定の対象とならないと判断されれば不合格とします。

### (3) 試験場

大阪大学外国語学部 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号  
(箕面キャンパス) (裏表紙「所在地経路図」参照)

## 7 合格者の発表

合格者の発表は、平成29年11月30日(木)11時から本学部研究・講義棟A棟前で、受験番号の掲示により行います。また、合格者には、合格通知書を送付します。

なお、合否に関する電話による問い合わせには、一切応じません。

## 8 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願書類に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜(出願処理

及び選抜試験実施)、合格者発表及び入学手続等の入試業務を行うために利用し、それ以外の用途では使用しません。

- (2) 入学者選抜に用いた試験の成績等の個人情報、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用し、それ以外の用途では使用しません。
- (3) 上記(1)及び(2)の業務での利用に当たって、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合、個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、知り得た個人情報の全部又は一部を、当該事業者に対して提供することがあります。

## 9 入学手続

合格者は、合格通知書に同封する「入学手続案内」に従い、次のとおり入学手続を完了してください。(詳細については、「入学手続案内」にてお知らせします。)なお、下記の入学手続期間中に入学手続を完了しない者については、入学を辞退したものと取り扱います。

① 入学手続期間：平成30年3月13日(火)～3月15日(木)

② 提出書類：「入学手続案内」にてお知らせします。

③ 納付金：入学金 282,000円

授業料 年額 535,800円

(前期分 267,900円 ・ 後期分 267,900円)

(注)上記の納付金額は、予定額であり、納付金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

## 10 既修得単位の認定

入学前に大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学において修得した単位は、下表に定める単位数の範囲で、審査の上、本学部において修得したものと認定されます。

なお、当該審査については、合格者を対象に別途お知らせします。

入学 種別	科目群	専門教育科目									卒業 論文
		専攻語科目			専攻科目		関連科目				
		1年 実習	2年 実習	演習	講義	演習	学部共通科目	研究 外国語	兼修 語学		
要件単位数	10	10	44		6		—	4	8		
	18										
編入学	10	10	—	4	—	10		4	—		

## 11 その他

- (1) 受験に関する問い合わせは、志願者本人が箕面事務室学生支援係に電話又は郵便で行って下さい。なお、郵便により問い合わせる場合は、返信先を明記した返信用封筒（82円切手を貼付のこと。）を同封してください。
- (2) 出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。
- (3) 出願書類受理後は、書類の差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納入された検定料は返付しません。
- (4) 障がい等のある者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望するものは、出願期間の初日（10月16日）までに、箕面事務室学生支援係へ申し出てください。
- (5) 受験上の注意事項
  - ① 試験室等については、試験当日、本学部研究・講義棟A棟1階エレベーター前のホールに掲示します。
  - ② 試験当日は、受験票及び筆記用具（黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。
  - ③ 受験票を忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。
  - ④ 口述試験の最終終了予定時刻は18時ですが、事情によってはそれより若干遅くなる場合があります。
  - ⑤ 試験当日は、学内食堂等は営業しておりませんので、昼食は各自で用意してください。